



【学校教育目標】社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.9

令和5年11月13日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田 智典



10周年研究報告会

10月28日(土)研究報告会が行われました。今年度は10周年ということで、「東山泉10年目の挑戦 9年間で繋ぐ、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を研究テーマにして行われました。本校では※「学びのスタンダード」を活用し、9学年通じて同じ学びのスタイルを継承してきましたが、昨年度「ファシリテーション」の手法を研究テーマに取り入れたのを契機に、今年度「学びのスタンダード」をリニューアルしました。今年度の授業公開では、どの学級、学年もその要素を盛り込み行われました。教職員もこの研究授業のために夏休み前から教職員同士お互いに研鑽を積んできました。



また、午後からは開校当時のメンバーでパネルディスカッションを行い、かつての立ち上げ時の苦労や喜び、そして成果などを語っていただき、最後はこれからの東山泉に期待することを伝えていただきました。今年度の講演は京都産業大学西川信廣教授にご依頼し「東山泉小中学校開校10周年記念研究大会～その取組の意義と課題～」というテーマでご講演していただきました。小中一貫教育の意義とその可能性、義務教育学校とは、東山泉の実践5-4制の意義と課題、15歳の子どもの像(つきたい力とは)等のお話を90分間熱く語っていただき、本校の教職員にとっても、自分たちが勤務している学校の意義を再確認し、改めて東山泉での使命感を強く持つことが出来ました。



※学びのスタンダード…9年間の学びを見通し、学習規律や作法に関する「学びのルール」、授業展開に関する「学びの進め方」、学習形態に関する「学びのかたち」の、3つの視点から標準化させたもので、開校以来学校全体で取り組んでいる。

10周年記念式典

夕刻より10周年記念式典がハイアット リージェンシー 京都にて開催されました。総勢170名もの方々がご参加いただき、また、門川市長様もお越しいただき、盛大な式典になりました。東山泉校区だけではなく、東山区に携わる方々もご参加いただき、改めて東山区の「子どもは地域の宝」という思いが強く伝わってまいりました。東山泉が開校したことで地域がつながり、また地域の思いが学校を支えてくださっていることに感謝したいと思います。この日は本校の教職員も多数参加し、東山区、そして地域の方々の思いを肌で感じさせていただきました。その思いを受け、教職員一同、目の前の子どもたちのために一丸となってさらに教育活動に邁進していく決意でございます。10年は経ちましたが、以前と変わらず、今後とも末永く東山泉小中学校にご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

